

別紙2

三重県 中央会情報連絡員報告総括表 (令和8年6月)

情報連絡員数	40	名	回答者数	40	名	回答率	100.0	%
--------	----	---	------	----	---	-----	-------	---

業界の景気動向(前年同月比)

		売上高			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備操業度			雇用人員			業界の景況		
		増加	不変	減少	増加	不変	減少	上昇	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	上昇	不変	悪化	増加	不変	減少	好転	不変	悪化
製 造 業	食 料 品	0	4	0	0	4	0	2	2	0	0	3	1	1	1	2	0	3	1	0	4	0	0	4	0	0	2	2
	織 維 工 業	1	1	1	0	2	1	1	2	0	0	3	0	1	2	0	0	3	0	1	2	0	0	3	0	0	2	1
	木 材 ・ 木 製 品	0	0	2	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	2	0	0	1	1	0	1	1	0	1	1
	紙 ・ 紙 加 工 品	0	1	0	0	0	1	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1
	印 刷	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1
	化 学 ・ ゴ ム																											
	窯 業 ・ 土 石 製 品	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	2	1	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	2	1
	鉄 鋼 ・ 金 属	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0
	一 般 機 器	2	1	0	3	0	0	2	1	0	0	2	1	1	1	1	0	1	2	0	3	0	0	2	1	1	1	1
	電 気 機 器	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	1
	輸 送 機 器	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	0	1	0
	そ の 他																											
小 計		4	12	4	4	12	4	7	12	1	1	16	3	4	9	7	0	15	5	2	14	4	0	16	4	1	10	9
非 製 造 業	卸 売 業		2		0	2	0	2	0	0	0	2	0	0	1	1	0	2	0				0	2	0	0	1	1
	小 売 業	1	3	2	1	4	1	2	4	0	0	3	3	0	3	3	0	4	2				0	6	0	0	3	3
	商 店 街		1		0	0	1	1	0	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0				0	1	0	0	1	0
	サ ー ビ ス 業		2	2				0	4	0	0	4	0	0	3	1	0	3	1				0	4	0	0	3	1
	建 設 業	1	2	1				3	1	0	1	1	2	1	1	2	1	3	0				0	2	2	1	2	1
	運 輸 業		1					1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0				0	1	0	0	1	0
	そ の 他		2					0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0				0	2	0	0	2	0
小 計		2	13	5	1	6	2	9	11	0	1	13	6	1	12	7	1	16	3				0	18	2	1	13	6
合 計		6	25	9	5	18	6	16	23	1	2	29	9	5	21	14	1	31	8	2	14	4	0	34	6	2	23	15

最近の主要指標の前年同月比D I の推移

(令和7年6月～令和8年6月)

三重県中小企業団体中央会

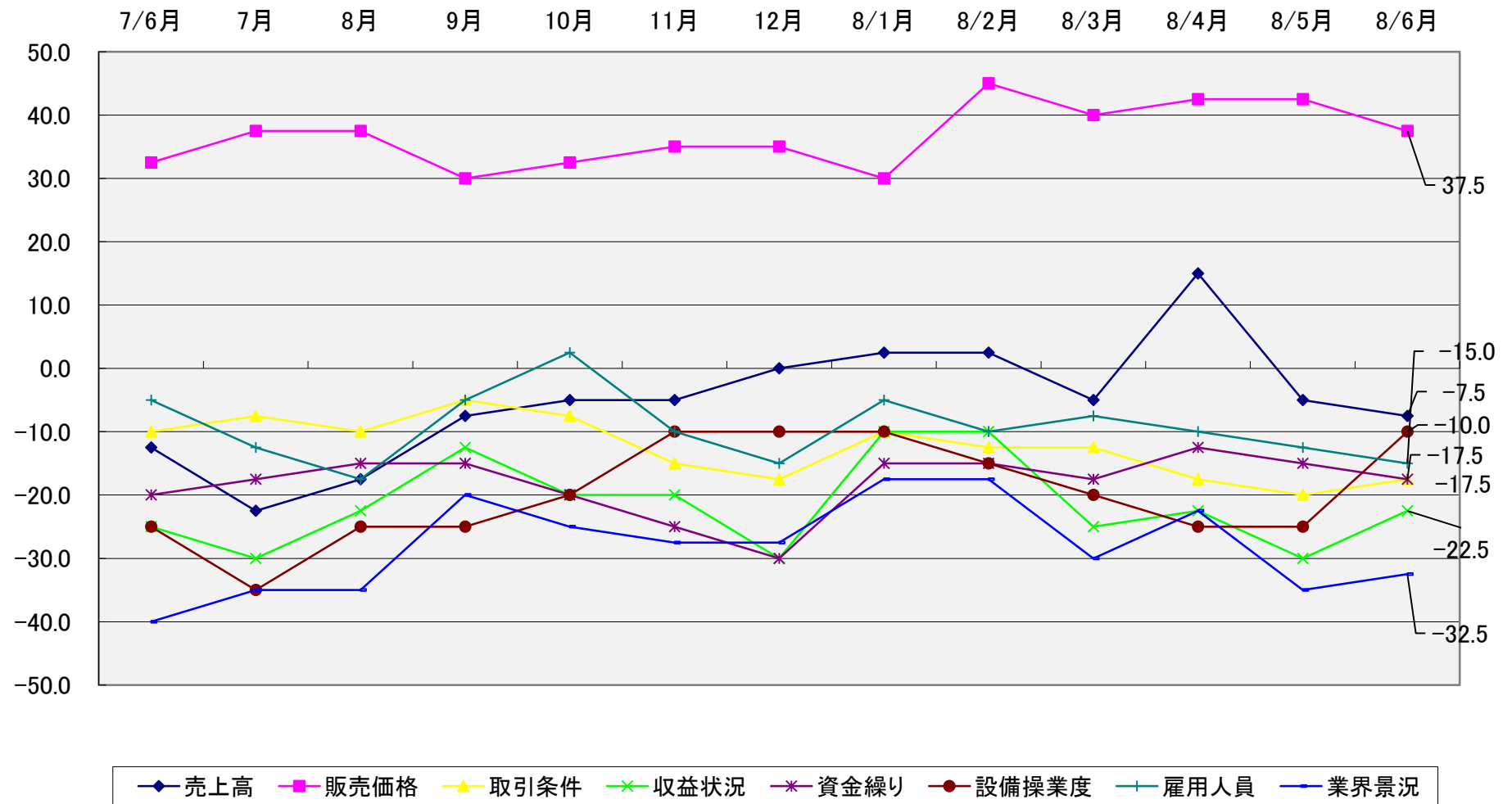
連絡員総数 40 名

	7/6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	8/1月	8/2月	8/3月	8/4月	8/5月	8/6月	増減
売上高	-12.5	-22.5	-17.5	-7.5	-5.0	-5.0	0.0	2.5	2.5	-5.0	15.0	-5.0	-7.5	-2.5
販売価格	32.5	37.5	37.5	30.0	32.5	35.0	35.0	30.0	45.0	40.0	42.5	42.5	37.5	-5.0
取引条件	-10.0	-7.5	-10.0	-5.0	-7.5	-15.0	-17.5	-10.0	-12.5	-12.5	-17.5	-20.0	-17.5	2.5
収益状況	-25.0	-30.0	-22.5	-12.5	-20.0	-20.0	-30.0	-10.0	-10.0	-25.0	-22.5	-30.0	-22.5	7.5
資金繰り	-20.0	-17.5	-15.0	-15.0	-20.0	-25.0	-30.0	-15.0	-15.0	-17.5	-12.5	-15.0	-17.5	-2.5
設備操業度	-25.0	-35.0	-25.0	-25.0	-20.0	-10.0	-10.0	-10.0	-15.0	-20.0	-25.0	-25.0	-10.0	15.0
雇用人員	-5.0	-12.5	-17.5	-5.0	2.5	-10.0	-15.0	-5.0	-10.0	-7.5	-10.0	-12.5	-15.0	-2.5
業界景況	-40.0	-35.0	-35.0	-20.0	-25.0	-27.5	-27.5	-17.5	-17.5	-30.0	-22.5	-35.0	-32.5	2.5

(注1) 「D I」はデフレーション・インデックスの略で「増加」・「好転」したとする

企業割合から、「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値である。

最近の主要指標の前年同月比DIの推移



情報連絡一覧票

	集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）
製 造 業	食料品	漬物	生産者の高齢化と後継者不足により、一部業者の中では漬物原料野菜の供給不足が続いており、また、イラン戦争の影響及び円安による諸資材の高騰により、経営を圧迫する状態が続いている。昨年から米の価格高騰の影響により、米の消費が減少しており、それにつれて漬物の消費も伸び悩んでいる。また、中央会からの依頼の労働実態調査を5件の組合員に依頼した。さらにホームページの改定を機に、特許庁地域ブランド推進室と連携して、地域団体商標の掲載した観光パンフレットに載せる伊勢たくあんの写真を更新した。
		醤油味噌	6月は全体的に低調に推移した。中東情勢の悪化による原油・ナフサ高を受け、トレーやフィルムの資材価格や原材料高といった影響が表面化した。円安による輸入原材料の高値も継続している。これらがコストアップの要因となり、今後の販売価格に転嫁せざるを得ない状況である。業界全体の出荷数量は前年を下回っている。7月には飲食料品の値上げが2500品目以上予定されており、ますます消費者の価格に対する選別が厳しくなることが心配である。
		他に分類されない食料品 製造業	ここ名張市では中学校給食が望まれて久しい中、なかなか実現しない。直近のニュースでは大手企業のユニ・チャームやLIXILが名張工場を閉鎖するらしい。財政難がいろいろな行事に影響を与えそう。6月から給与の見直しをしている。これからの1年間の経過を見て検討して行きたい。
		製麺	6月11日に全国の製麺協同組合連合会・生めん類公正取引協議会・めん類衛生技術センターの3団体の総会が終わった。特に感じたのが年々各団体の会員組合数の減少が懸念される。今後は組合の在り方も変わっていくことになる。大手企業との関わりをより強く（仲良く）していく事が大切であると思う。今後も宜しくお願いしたい。 値上げをスムーズにやれた所が今後は生き残れることだと感じている。
	繊維工業	衣料縫製	イラン戦争の影響で食費の費用が増大し、そのため人々の衣料品の購買は減少し、秋冬物の受注が減少している。海外生産のファストファッションの販売比率は50%以上に達しており、国内の製造業者は従業員の高齢化に加えて、燃料・資材の値上がり、工賃に転嫁困難となり、先行き不安材料ばかりである。
	木材・木製品	木材	住宅資材等の入手困難な情勢は回復に向かっているが住宅着工は鈍化が続いている。円安、輸送コスト、燃料費の高騰等もあり、国産材製品の荷動きは依然として低調な中、コストに見合った価格転嫁は進んでいない。
		木材チップ	原材料価格が高止まりしているため原料確保が課題である。従業員の確保が困難である。機械や消耗品等、修理費の価格が高い。
	紙・紙加工品	古紙	6月の仕入れ量：段ボール・約98±4%位、新聞、チラシ・約82±6%位、雑誌・雑誌がみ、その他を合わせて約96±4%位である。古紙の発生は毎月前年比▲5%～8%となり人口減少と少子化・高齢化が進み、電子メールや電子端末・スマホの普及等と相まって紙の使用激減へ繋がっており、20年ほど前から予測していた紙の消費量に近づいてきた。今年の梅雨空の天候も以前のような気温となり、アメリカ合衆国とイランのホルムズ海峡閉鎖により、日本の西にあるユーラシア大陸の中国とインドの景気の激退と化石燃料の消費激減が関係しているかもしれない。板紙の3回目原紙の値上げは90%ほど進んだようだが、紙の値上げは紙の使用を止めることにより消費減となり、全く売上が無しとなることもある様だ。コロナ後の証券市場は高騰しているが、私達には物価高や燃料不足等と実質的な収入や粗利の不足が現実かもしれない。持ち去り金属の立法化が登録制でなされて、古紙や古着の持ち去りやゴミの置き去りも現行法では警察に捕まえてもらえないので、古紙の持ち去りの効果的な立法化を願うところである。
	印刷	印刷	中東情勢の悪化等、複合的な要素から資材の高騰は依然続いている。7月より封筒の価格が値上げとなるが、用紙についても7月中旬以降、値上げとの案内が製紙メーカーより発表され、上げ幅も15%以上となり、10年前と比較しても約2倍の仕入価格となってきている。これらを踏まえ、価格転嫁が出来るよう今後は行政機関において働きかけを行っていきたい。
	窯業・土石製品	伊賀焼	企業の状況は円安による原材料価格の高騰により業績に悪影響を及ぼしているの、問題が解決できることを期待している。
	鉄鋼・金属	鍍金	業界の生産額は、総じて堅調な状況である。中心は自動車車載部品関係で、特にEV関連の受注が好調である。ただ、不透明な中東情勢の影響により経費の高騰が顕著になってきており、収益が圧迫される可能性がある。
		四日市市	中東情勢の影響はこのところあまり聞かなくなったが、原材料価格の値上がりは依然続いている。また、半導体業界の活況により、部材等の納期遅延が数年前と同じように発生してきている。自動車関連は依然低調のようで、企業によって景況は大きく違うように感じる。最近では中国からのレアアース輸出規制の影響でネオジム磁石が入手できなくなっている。

情報連絡一覧票

	集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）
非 製 造 業	一般機器	津市	受注はそれほど高くないが、材料価格高騰分が単価に反映されており、売上は増加。製品の方では利益はあまり出ず、スクラップ屑の売上で何とか持っている状態である。潤滑油などの加工油が手に入りにくいのと値上げが続き、収支を悪化させている。またビニール袋の入荷も悪く、先行きが全く見通せない状況である。
		伊勢市	設備投資は引き続き堅調であり、工場の稼働率も全体的に好調。注文も増え売上も増え、利益も上がってきた。自動車関連も工作機械関連も良くなってきたと感じている。米国とイランの戦争、ホルムズ海峡の通行困難に伴う原油の流出困難からの石油製品の不足から値上げ、いろいろなモノの値上げが景気の足を引っ張ることを心配している。
	電気機器	鳥羽市	現状は厳しく先月に続き50%稼働で雇用調整を申請しながら進めている。一組合員の状況が少し回復してきている様子が見られるが、まだまだである。
	輸送機器	伊勢市	受注は自動車部品では増加、一般機械器具は減少している。自動車部品の増加は新規部品案件の寄与によるもので、既存品は横ばいで、全体的に受注良好とはいえず、閉塞感はある。イラン情勢の不透明感は継続、コスト増加要因は変わらず。昨年に続く値上げ実施の影響は、夏の賞与にも大きく出そう。エネルギー価格高騰の今後の影響も確実で、動力費（電力、ガス料金等）の大幅な値上がりはマイナス要因である。
			【野菜前半】台風による大きな影響はなかったが産地や品種の切り替えで少なくなっている物もある。ミニトマトは熊本から北海道に、ニンジンには徳島から岐阜が中心に、スイートコーンは宮崎産から愛知産が増えてきた。高知産の新ショウガが増え、お買得に。長野産レタスは安定入荷でお買得になっている。 【野菜後半】長野・北海道産などの夏場の産地に切り替わり長野産のレタス・ハクサイが順調に入荷でお買得。長野・北海道産ブロッコリーが値下がりしてきた。愛知産エダマメ、トウモロコシの入荷が増えてお手頃になっている。 【果物前半】熊本・愛知・鳥取産のスイカが露地物も増え甘味十分でお値打ちに。メロンは熊本・茨城産のタカメメロン、愛知産イエローキングが食べ頃。島根産デラウェアも入荷が増えて値を下げた。山形・山梨産のサクランボの佐藤錦が少しずつ入荷が多くなってきた。 【果物後半】全体的に順調にくだものは入荷している。 山形産サクランボ佐藤錦が最盛期に。ここ2～3年不作が続いたが例年並みに回復して甘味と酸味のバランスがよく味もよい。スイカは愛知・鳥取産がピークである。山梨・愛知産の早生のモモの糖度が高い。愛知・静岡産ハウスみかんの入荷が増えてきた。
非 製 業	小売業	青果	【野菜前半】台風による大きな影響はなかったが産地や品種の切り替えで少なくなっている物もある。ミニトマトは熊本から北海道に、ニンジンには徳島から岐阜が中心に、スイートコーンは宮崎産から愛知産が増えてきた。高知産の新ショウガが増え、お買得に。長野産レタスは安定入荷でお買得になっている。 【野菜後半】長野・北海道産などの夏場の産地に切り替わり長野産のレタス・ハクサイが順調に入荷でお買得。長野・北海道産ブロッコリーが値下がりしてきた。愛知産エダマメ、トウモロコシの入荷が増えてお手頃になっている。 【果物前半】熊本・愛知・鳥取産のスイカが露地物も増え甘味十分でお値打ちに。メロンは熊本・茨城産のタカメメロン、愛知産イエローキングが食べ頃。島根産デラウェアも入荷が増えて値を下げた。山形・山梨産のサクランボの佐藤錦が少しずつ入荷が多くなってきた。 【果物後半】全体的に順調にくだものは入荷している。 山形産サクランボ佐藤錦が最盛期に。ここ2～3年不作が続いたが例年並みに回復して甘味と酸味のバランスがよく味もよい。スイカは愛知・鳥取産がピークである。山梨・愛知産の早生のモモの糖度が高い。愛知・静岡産ハウスみかんの入荷が増えてきた。
		自転車	国内物価の上昇が依然として家計を圧迫しており、個人消費は力強さを欠く展開の中、4月より施行された「交通反則通告制度」へ向けて自転車の交通安全教育ガイドラインが策定され、警察庁ウェブサイトに於いて公表された。今後は交通安全教育の充実化と社会への浸透を図り安全な利用環境の構築に進む必要性を感じている。 （一財）自転車産業振興協会より令和7年1～12月の生産台数と需要台数が発表された。国内生産台数は691,678台（前年比：103.1%）と微増。輸入台数では4,139,063台（前年比：93.8%）と減少で全体の国内向け台数は4,830,681台（前年比：95%）と減少傾向、同様に三重県内会員所属の経営環境は増々厳しい状況となっている。
		電器	夏場商戦へ向かう時期というところだが、2027年問題（エアコン）の話題が多く出るようになった。メディアや報道の説明が間違っていないが、低価格で購入しておくべきか省エネに寄与出来る機種を選ぶのか、少し迷うように思う。補足で自分たちが利用状況に合わせて提案できるが、品不足な状況もあり円滑に購入へ進めてもらっていない状況だ。梅雨が明けてからの品不足も不安材料である。
		石油	中東情勢の悪化による原油価格の高騰を受け、政府は3月19日から、ガソリン価格を170円程度にするため、緊急的激変緩和措置を開始しガソリン価格に補助金を出している。高い時には1ℓ当たり50円程度の補助金が入っていたが、直近では5円程度となっている。政府の方針で、ガソリン価格を全国平均で170円程度にするという方針があるため、原油価格が乱高下する中で、ガソリン価格は安定的に推移しており、ガソリン価格が消費者物価指数の高騰の抑制に貢献している状況となっている。
非 製 業		スポーツ	6月9日名古屋にて中部ブロック総会（愛知、三重、岐阜、静岡、富山、福井、石川）が開催された。今年の主管県が三重県であったため何かと苦労したが何とか無事終わった。全国の理事長からこれからスポーツの三大大会（全日本中学、インターハイ、国民スポーツ大会）の縮小傾向にあり、それに合わせた記念品等の受注が少なくなる展望であることの報告があった。今年は冬季オリンピック、WBC、ワールドカップなど世界大会が催されているが中々末端の我々にはほぼ響かないのが現状である。

情報連絡一覧票

	集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）
	商店街	熊野市	商店街の空き店舗を活用するチャレンジショップ事業は4月より募集をかけていたがなかなか新たな事業者の応募がない状況が続いていたがようやく新たな事業者が決定しそうな状況である。ただチャレンジショップの課題は事業者が契約満期後の新たな店舗が見つからないこと。市や商店街もアフターフォローをすることが大事で地域に根付いた事業が継続できる環境作りも必要と感じる。
	サービス業	旅館	先月はかなり回復してコロナ禍以前の業績に戻った感があったが、今月は3連休もなく、コロナ禍の禍中に戻ったような業績であった。加えて諸物価の高騰、中東情勢、顧客の志向の変化への対応等経営環境は一段と厳しさを増している。対前年同月比は90%、2019年同月比は70%程度のようなだった。
		警備	6月度後半は雨天も多く台風のため稼働日数が減少した。
	建設業	総合工事業	2026年5月の公共工事の県内企業の受注状況は、前年度同月と比べて減となっている。内訳でみると、国、県、市町発注いずれも減となった。前月から比べると県の減が大きい状況だ。中東情勢の影響から資材において、大幅な単価上昇やメーカーからの供給の見通しが見えない状況については、注文の開始も始まり若干緩和されつつあるが、引き続き入手困難な状況であり、工事全体の価格や工期への影響に懸念する状況である。
		内装工事業	対前年同月比で大幅な増加となった。中東情勢の石油不安も重なり円高・物価高騰・原材料不足等が業界内にも深刻な影響があり非常に難しい状況となっている。よって今後の見通しの予測は厳しい。
		水道工事業（亀山市）	水道事業の委託業務について、量水器の取替え、漏水の修理等を順調に行っている。資材等の価格も高値で推移しており、まだまだ見積等が高くなり個人の修理等利益に反映するのが難しい状況にある。まだまだ資材の安定供給が不安定な状況が続く、厳しい状況が続くと思われる。

行政庁・中央会に対する要望事項

集計上の分類業種	具体的な業種	行政庁・中央会に対する要望事項、または関心のある事項、意見等
食料品	他に分類されない食料品製造業	疑問点を聞いたり、アドバイスを頂けるのはありがたいです。
サービス業	旅館	宿泊業をはじめ、生活衛生関連の飲食等にあつては、厳しい経営環境の中、消費税0%に対する経営悪化を懸念する経営者が多い。この際消費税0%の議論は撤回していただき、給付付き税額控除を優先的に議論いただきたい。
食料品	製麺	組合活動に対し尽力を賜り感謝申し上げます。値上げ等の問題を確実に取組み、前に進んでいきたいと思ひます。式年遷宮の行事等もあり、伊勢うどんを盛り上げていける様に組合活動を行っていきます。
一般機器	四日市市	中東情勢がひと段落した感がある、高騰した価格が今後どのように変わっていくのか注意が必要です。賃金アップに向け販売価格への転嫁が今後の課題です。
小売業	石油	原油の輸入量を安定させ、価格の高騰が一段落するまでは、引き続き緊急的激変緩和措置の継続を強く要望する。